

令和6年4月1日 市長訓示

皆様、おはようございます。

令和6年度を迎え、本日から、新たな体制のもとで業務がはじまります。

まず、組織体制についてであります。先ほど、本日就任した山脇副市長に選任書をお渡しし、4月1日付けの人事異動の辞令交付、さらには新規採用職員、県からお迎えした職員に辞令書を交付いたしました。

山脇副市長にあっては、これまで、県で培われた知識や経験、組織管理力を、いかに発揮していただき、事務方トップとして、組織をまとめ、本市の施策が力強く推進されるよう、また、私の補佐役を担っていただきますよう、お願いいたします。

新規採用職員の皆さん、入庁おめでとうございます。新たな環境、新たな職場に入り、今は、夢や希望とともに、不安もあるかと思えます。長い職場人生において、スランプに陥ったり、人間関係に悩むことが、必ずあると思えます。そのような時は、一人で悩まず、同僚や先輩、上司等の仲間に相談してください。そして、話を聞いた仲間は、一緒に考え、手を差し伸べてください。

今日から、新規採用職員の皆さんは、大切な仲間です。一緒に伊豆の国市の発展、市民の幸福に力を注ぎましょう。皆さんの、今後の成長と、活躍を期待しています。

静岡県から着任した皆様は、本日から、伊豆の国市の職員として勤務していただき、市のためにご尽力いただくこととなります。県と伊豆の国市では、組織の規模も、業務内容も異なります。戸惑うこともあろうかと思いますが、県で培われた、大所高所からの目線で、伊豆の国市を見て、気づいたことは、躊躇なく発言してください。伊豆の国市にとって、そうした発言が、市の発展につながっていくのだと思えます。

幹部職員の皆様には、部下とのコミュニケーションをしっかりと取り、チームとして仕事がしやすい環境づくりをお願いいたします。

仕事はチームで行います。部下がどのような業務を行っているか、その進捗はどうか、悩んでいないか等、その把握とケアやサポートに努めてください。

部下が困り、悩んでいるときは、他力本願ではなく、マネージャーである管理職が解決に向け、一緒に行動をしてください。

組織において、「チームワーク」を意識していただきたいと思えます。

加えて、職員の皆さんにお願いしたいのは、改革の意識をもっていただきたいということです。具体的には、市民目線や良識に照らし、従来のやり方やルールを変えるべき合理的な理由があるならば、「これまでこうだったからできない」というのではなく、条例・規則の改正を含め、進んで改善していった欲しいということです。

それから、市役所は市民に一番近い行政を行う役所ですから、市民や団体、また市外の方々からいろいろな接触・相談があります。窓口課だけではありません。そういうときは、言葉遣いなどにも気をつけて、丁寧な対応をお願いします。よほどのことがないかぎり、相手の立場にたって相談にのってあげてください。

今年度は、伊豆の国市となり20年目を迎えます。「10年ひと昔」とは言いますが、大きな区切り、節目の年となります。市制施行20周年に向け、様々な取り組みを行ってまいります。20年を経て、市役所が成長し、市民の満足度がさらに上がるよう、皆さんと一緒に努力していきたいと思えます。

最後になりますが、良い仕事をするには健康が大事です。心身ともの健康にみんなで気を付けあい、チームで、楽しく、伊豆の国市の未来に向け、最大限の力を発揮していただくようお願いし、年度初めの私の挨拶とさせていただきます。

よろしくをお願いいたします。

令和6年4月1日

伊豆の国市長 山下正行